

西 区 の 隠 れた 名 品 展

2016.11.26(土) - 12.25(日)



安宅安五郎《ベルシャの陶器》1923年以前 新潟大学理学部蔵

開館時間＝午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで) 休館日＝月曜日(ただし12月19日は開館)

観覧料＝一般500円 大学・高校生300円 中学生以下無料
「新津美術館所蔵品展」とセット料金です

※有料20名以上は団体料金で2割引 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳提示)
※SLばんえつクーポン、新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券持参で2割引 ※割引の併用はできません

主催＝新潟市新津美術館 共催＝新潟日報社
後援＝朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送局、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ほかほカラオケ

NAM 新潟市新津美術館
〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲刈109番地1 花と道跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL: 0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>



米谷清和《灯点し頃(夕間暮れ)》2012年 新潟市新津美術館蔵

新津美術館所蔵品展 音を 見る

2016年
11月26日(土) - 12月25日(日)

開館時間＝午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
休館日＝月曜日(ただし12月19日は開館)

観覧料＝一般500円 大学・高校生300円 中学生以下無料
「西区の隠れた名品展」とセット料金です

※有料20名以上は団体料金で2割引 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳提示)
※SLばんえつクーポン、新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券持参で2割引 ※割引の併用はできません
主催＝新潟市新津美術館 共催＝新潟日報社
後援＝朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送局、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ほかほカラオケ

新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲刈109番地1
TEL: 0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>



踊りの音楽、楽器の音色、鳥のさえずり、夕暮れ時に響く遠音――
絵画や工芸品の「音」を想像してみてください
併せて、平成27年度新収蔵作品を紹介

新津美術館所蔵品展

音を 見る

絵画や工芸品の「音」を
想像してみてください

新潟市新津美術館では、新潟地域にゆかりの作品や現代の文化に通じる作品など、今の新潟に暮らすわたしたちにとって身近に感じられる美術作品を収集、保存しています。中には、音をテーマに作られた立体造形や、音を感じさせる情景が描かれた絵画などがあります。音楽の旋律や雷鳴の轟、雪の音、波のさざめき、祭りの喧騒——心の耳を澄まして作品を見ると、それぞれの「音」がきつと聞こえてくることでしょう。本展では、作品から想像される「音」をテーマに、絵画や工芸品など

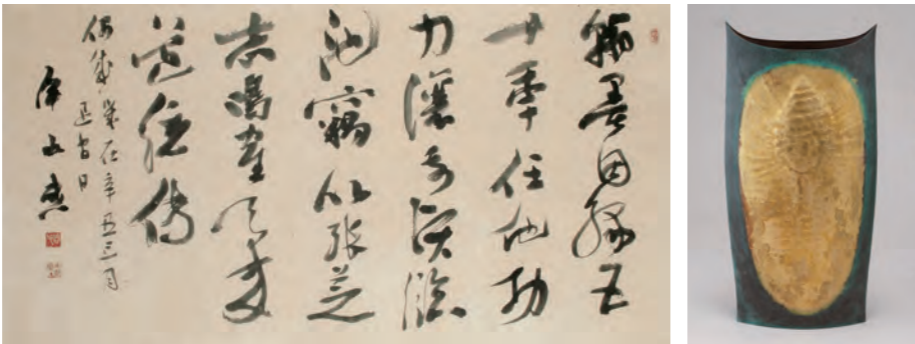
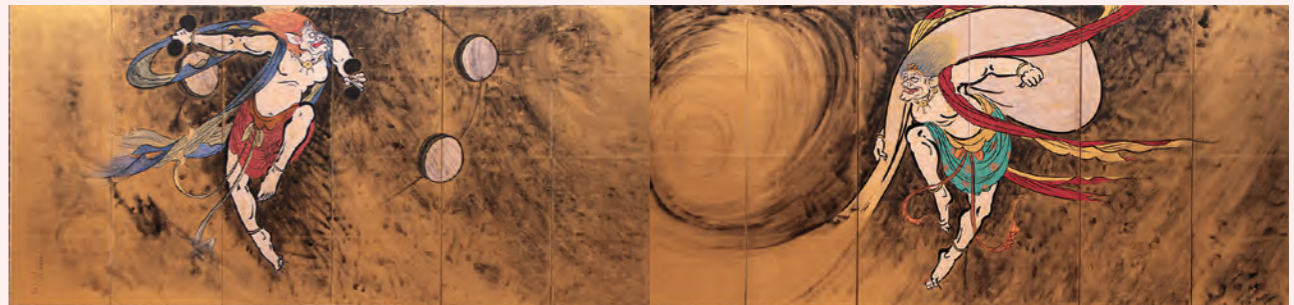
約100点の所蔵品を展観します。よく親しんでいる音や、あるいは聞いたことのない空想上の音など、自由に「音」へ思いを巡らせながら美術を楽しみ、当館所蔵品により親しみを感じていただければ幸いです。

併せて平成27年度(昨年度)の新収蔵作品を紹介いたします。長く所在不明だった岩田正巳(1893-1988)の《嬉む》や、昭和天皇が新潟を巡幸した様子を三浦文治(1906-1994)が描いた貴重な素描集など、新たに加わった魅力あるコレクションの数々を是非ご覧ください。

学校や公共施設等が所蔵する美術品を、市内の区ごとに一堂に集めて紹介する「隠れた名品」シリーズも、今回の西区で5回目を数えます。地域密着の展覧会として、学校の校長室などの一般には公開されていない場所に飾られた優品を展示する本企画は、多くの皆様から楽しんでいただいております。

砂丘湖の佐潟や防砂林の松林などの自然と、新潟大を周辺を中心に住宅が立ち並ぶ市街地が広がり、農業や漁業も盛んです。出品作は、地元の小中学校、大学にゆかりの教師らの作品が多く、日本海や佐潟を描いた作品も見ることができます。地域で大切にされてきた「隠れた名品」の数々をお楽しみください。

西区の 隠れた 名品展



出品作家

日本画：川合 清、高橋五仙子、山本真也、横山信子
洋画：青柳三郎、安宅安五郎、市橋哲夫、猪爪彦一、内山 格、榎本良一、大島秀三郎、岡村文彦、片野四郎、近藤 充、富田 徹、長森 聰、西村 満、畠山恒夫、早津 剛、堀井健美、三浦顕榮、宮下正孝、村山 陽、ロシア・ハバロフスクの子供たち

水彩画：五十嵐二朗
版画：小林春規、高橋信一、渡辺欣次
彫刻：今井浩勝、五傳木浩樹
工芸：亀倉蒲舟、亀倉康之、箱田 努
書：會津八一、石橋犀水、加藤禧一、竹内臨川、野中浩俊
写真：天野 尚

関連イベント ※西区の隠れた名品展、所蔵品展共通の関連イベントです

▶ ミュージアムコンサート

フルートとバイオリンの二重奏によるクリスマスの名曲などをお楽しみください
演奏：中林恭子氏(フルート) 会場：展覧会会場内
廣川抄子氏(バイオリン) 定員：80名(当日先着順、申込不要)
参加費：無料 (但し当日の観覧券が必要ですよ)
日時：12月24日(土) 午前11時30分～、午後1時30分～ (2回公演、各30分)

▶ ギャラリートーク

日時：12月10日(土) 午後2時～ (30分程度)
会場：展覧会会場内

1	2	4
3	6	
5		

1. 富田温一郎《夏恋》1926年
2. 三浦小平二《青磁飾り窓「トルコにて 旋舞」》1987年頃
3. 張替正次《佐渡尖閣湾》2002年
4. 岩田正巳《初秋》1923年

5. 式場庶子《ことり仙女(1)》(6点組)1987年
 6. 増原宗一《風神雷神図》1925年(寄託)
- すべて新潟市新津美術館蔵

NAM
NITSU ART MUSEUM
新潟市新津美術館
〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲刈109番地1
花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL: 0250-25-1300
http://www.city.niigata.jp/nam/

こどもタイム
会場に音楽が流れます。
親子で会話を楽しみながら
ご鑑賞ください。
日時：
会期中の第1・3木曜日、日曜日
(12月1日、4日、15日、18日)
午前10時～午後1時

託児サービス(無料)
日時：
会期中の第2・第4の木曜日・土曜日
(11月26日、12月8日、10日、22日、24日) 午前10時～12時
対象：
生後6ヶ月～就学前のお子様(定員3名程度、先着順)
申込方法：
利用日の3日前までに電話(0250-25-1300)でお申込みください。

展覧会のご案内
次回予告：
「新潟の院展作家たち」
2017年2月4日(土)～3月20日(月・祝)
同時開催：
新潟市美術館 TEL: 025-223-1622
「アンパンマンとやなせたかし展」
11月3日(木・祝)～1月15日(日)

交通のご案内
JR：
・JR古津駅から徒歩約25分。
・JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分。
お車：
・会津若松方面から、磐越自動車道新津ICより約20分。
・新潟市街地方面から、磐越自動車道新津西スマートICより約15分。
※新津西スマートICは会津若松方面の出入りはできません。

バス：
・JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」(発車時刻9:25、13:10)に
乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田
経由白根・湯東行き」(発車時刻11:30、12:45、平日のみ運行15:30)に乗車約15分、
「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。
・JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」(発車時刻11:49、15:34)に
乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津駅行き」
(発車時刻12:12、土休日のみ運行14:15)に乗車、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

